

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(数学)科目：(数学Ⅱ) 対象：(第 2 学年 1 組～ 7 組)

教科担当者：(1・2理 7文 組:井上 (印)) (1・2文 3・4文 組:大塚 (印)) (3・4文 5文 6文 :立原 (印))

教科・科目の指導目標	学カスタンダードに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置いた指導を行う。
------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	数値計算や基本問題など、単純な計算や問題はそれなりに解くことができる。一方、関数や図形の計量など数学的な考察を必要とする問題を苦手とする生徒が多い。基礎基本的な内容を定着させるための学習量が足りていない生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題や基本問題は、授業で着実に取り組みませ定着させる。 ・Study-UpやREPEAT等の問題集、プリントなどを活用して、反復学習をさせる。 ・家庭学習、宿題等で定着させ、小テストや定期考査等でフィードバックする。 ・補習・講習を実施する。 ・基礎基本的な内容を用いて、応用問題を解かせる機会を授業や課題で増やしていく。 ・数学を得意とする生徒の応用力を付けさせるためにB問題や入試問題なども授業で取り入れてゆく。 	教科会において下記の指導方針を確認。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に問題集提出課題の実施 定期的に問題集を解かせ、提出させることで学習習慣の定着を図る。 2. 休業課題の実施 夏期冬期休業中に課題を出し、学習内容を基礎から発展までのレベルの問題で復習させる。課題は提出させ、自学自習の習慣を養う。 3. 夏期講習の充実 2年生対象の夏期講習を1講座以上開講する。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			